

全国保育士会

第25期主任保育士特別講座 募集要綱

1 ねらい

改訂から3年が経過した保育所保育指針では、地域における子育て支援が保育所の役割として定められており、これに対し保育所は地域における多様な保育ニーズに対応した取り組みを実践しています。

一方、今後の保育に大きな影響を及ぼす、子ども・子育て新システムの検討が進められていますが、全ての子どもの最善の利益のために保育所が果たすべき役割はこれまでと変わらず、主任保育士は、高い専門性に基づいた育児不安の解消や児童虐待対応など、子どもの健やかな育ちと子育てを支える保育をすすめる要としての役割が今まで以上に求められています。

こうしたなか、全国保育士会は、保育士自身が「一人ひとりの子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支え、子育てにやさしい社会をつくっていく」という全国保育士会倫理綱領を基に、より一層の知識と技術の習得に励むことが必要であると考えており、これらの実践の中核となる主任保育士の資質の向上がすべての保育所における主任保育士の専任配置につながっていくものと考えます。

本講座では、次の4点を中心に、保育所および地域における保育のリーダーとしての主任保育士のより高度な専門性と指導性を系統的な学習により修得します。

- (1) 保育内容について質的充実をはかる
- (2) 保育のリーダーとしての力量を高める
- (3) 保育のスーパーバイザーとしての知識・技術を磨く
- (4) 地域社会における子育て支援の役割を充実させる

2 主催 全国社会福祉協議会／全国保育協議会／全国保育士会

3 後援 厚生労働省・社団法人 全国保育士養成協議会（予定）

4 実施主体 全国保育士会

5 受講要件 以下の4つの事項の全てを満たすこと。

- (1) 保育経験が概ね10年以上あり、主任保育士およびそれに準ずる者であること。
- (2) 施設長ならびに都道府県・指定都市保育協議会会長または保育士会会長の推薦を得た者であること。
- (3) 全期間継続して受講できる者であること。
- (4) 事前レポートにより、受講動機・受講期間中の達成課題が明示されていること。

テーマ：①主任保育士（または、それに準ずる者）としての課題と本講座の申し込みの動機 および ②本講座受講期間中に達成したいことや取り組みたい課題

字数：1,500~2,000字

6 受講期間・内容

- (1) 受講期間 平成24年4月～平成25年3月（1年間）
- (2) 集中講義 前期：平成24年 5月19日（土）～22日（火）
後期：平成24年 9月21日（金）～24日（月）
- (3) 自宅学習 課題レポート（6～11月毎月末日提出締切り・計6本）
- (4) 修了論文 （平成25年2月末日提出締切り）

7 修了要件

- (1) 課題レポート(6~11月)を全て締切日までに提出し、合格すること。
- (2) 前・後期集中講義の全てを受講すること。
- (3) 修了論文を締切日までに提出し、合格すること。

8 申込方法

申込書(事前レポートも添付のこと)に施設長の推薦印を捺印のうえ、都道府県・指定都市組織宛にお申し込みください。申し込み締め切りは、各都道府県・指定都市保育士会までお問い合わせください。(全国保育士会への受講申込みは、都道府県・指定都市組織の推薦を経て行われます。各組織から全国保育士会への申し込み締め切りは平成24年2月末日です。)

9 定員 80名(各都道府県・指定都市組織2名程度)

受講決定のお知らせは、平成24年4月の予定です。

10 受講料 120,000円(宿泊費、交通費は含まれません。)

11 集中講義会場・宿泊施設

全国社会福祉協議会「ロフォス湘南・中央福祉学院」
〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口1560-44
TEL:046-858-1322/FAX:046-858-1285

12 個人情報の取扱い

個人情報の管理については、全国保育士会「個人情報に関する方針等について」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません(下記全国保育士会ホームページ参照)。

「受講申込書」に記載された個人情報は、本講座の運営・管理の目的にのみ使用します。

13 その他

- (1) 本講座修了生には、全国社会福祉協議会会長名の修了証書を交付いたします。
- (2) 本講座の修了を受講要件とする本会が主催する研修会があります。(保育「スーパーバイザー」養成研修会等)

14 連絡・問合せ先

全国保育士会 事務局(社会福祉法人 全国社会福祉協議会 児童福祉部内)
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
TEL03-3581-6503/FAX03-3581-6509 shunin-kouza@shakyo.or.jp
<http://www.z-hoikushikai.com/>

「保育活動専門員」認証制度の実施について	
全国保育協議会(全保協)および全国保育士会の各研修会では、受講することで得られる研修ポイントを設定し、一定ポイント以上を獲得した方に対して、認定証(任意)を発行する認証制度を実施しています。対象となる研修会は、全保協・全国保育士会の主催する以下の研修会です。 本講座を修了すると、認定証発行に必要な研修ポイント(1,000ポイント)が獲得できます。また、あわせてブロック保育協議会・ブロック保育士会の主催する研修会についても一部対象としています。 なお、認定証申請の受付期間などその他詳細については、全国保育協議会ホームページ(http://www.zenhokyo.gr.jp/)に掲載しています。	
全保協主催大会・研修会	全国保育士会主催大会・研修会
①保育所長専門講座 ③保育所保健・衛生専門研修会 ④保育21世紀セミナー ⑤公立保育所トップセミナー ⑥全国保育研究大会 ⑦保育所長集中講座 ⑧リカレント研修会	①主任保育士特別講座(1年間の通信講座) ②全国保育士研修会 ③「保育スーパーバイザー」養成研修会 ④全国保育士会研究大会 ⑤全国保育士会食育推進研修会 ⑥「保育の個別計画」研修会

第25期(平成24年度)集中講義科目・講師一覧

科 目	内 容	講師 (敬称略)
目 的 理 解		
子ども家庭福祉	社会福祉の体系およびノーマライゼーションやウェルビーイング等の基本的概念を学ぶとともに、子ども家庭福祉の意義、法制度、実施体制、最近の動向について学ぶ。	淑徳大学教授 柏女 霊峰
社会福祉援助技術Ⅰ	「ソーシャルワークとは何か」を学ぶとともに、保育士に求められるソーシャルワークについて学ぶ。	神奈川県立保健福祉大学 顧問 山崎 美貴子
社会福祉援助技術Ⅱ	社会福祉援助技術を体系的に理解するとともに、児童福祉施設としての保育所の役割を理解する。	武庫川女子大学准教授 倉石 哲也
対 象 理 解		
発達心理学	乳幼児の心身の成長・発達について理解し、発達障害等への対応など様々な課題とその援助のあり方について学ぶ。	玉川大学教授 鈴木 牧夫
家族援助論	現代の家族およびそれを取りまく状況について理解し、ファミリーソーシャルワークの知識・技術とともに、地域の子育て支援のあり方について学ぶ。	日本社会事業大学准教授 金子 恵美
小児保健	乳幼児の健康・発育や小児疾病の特徴等の知識および保育所における衛生についての知識・技術を理解する。	ほあし子どものこころ クリニック院長 帆足 英一
小児栄養	乳幼児の食生活と心身の発達および疾病・障害と食生活との関係等について理解し、食育に関する知識・技術を学ぶ。	白鷗大学教授 高橋 美保
内容・方法理解		
保育の計画	保育指針に基づいた保育内容と保育の計画のあり方について、主任保育士として指導的立場での取り組みを学ぶ。	東京家政大学教授 増田 まゆみ
乳児保育	特にニーズの高い乳児保育について、その意義・特徴を理論的・実践的に学ぶ。	武庫川女子大学教授 八木 義雄
統合保育	障害のある子どもや保護者の支援について学び、個々に応じた保育の実践について学ぶ。	小田原女子短期大学学長 小沼 肇
特 別 講 義		
現代保育課題	人権に関する動向・基礎的知識を学び、保育士として実践現場で人権意識が問われる場面等を通して実践的に学ぶ。	東京都人権啓発センター
主任保育士とスーパービジョン	組織の中の主任保育士の重要性を理解し、保育士が専門性を活用して保護者支援等をすすめるための、スーパービジョンの基本を学ぶ。	和泉短期大学特任教授 杉山 佳子
主任保育士の役割と責務	職場環境を整えるため、主任保育士の立場と期待される役割を学ぶとともに、保育サービスの提供にかかわる視点の持ち方を学ぶ。	こどものくに保育園 園長 佐藤 秀樹
保育士会活動	全国保育士会倫理綱領について学ぶとともに、保育士会活動について理解する。	全国保育士会会長
論文の書き方	研究論文の書き方について、基本的な考え方や執筆時の約束事などについて学ぶ。	大阪府立大学准教授 里見 恵子

課題レポート

- 締切り**… 下記のレポート課題に基づき、毎月末日を締切りとする。
 (電子メールの場合は、全国保育士会のメールサーバーの受信、郵送等の場合は当日の消印まで有効)
- 字数**… 1,500～2,000字とする。
- 提出方法**… (1) 原則、指定のフォーマットを用いて、パソコン等により作成し電子媒体で提出する。全国保育士会事務局の電子メールアドレス (shunin-kouza@shakyo.or.jp) 宛てにデータを添付し送付する。
 (2) 電子メール送受信の環境が整っていない場合は、パソコン等で作成したものを印刷し、全国保育士会事務局に提出する。
- 添削・合否**… 担当ゼミ講師が添削指導と合否の審査を行い、全国保育士会事務局経由で受講生に返却する。
- その他**… レポート作成において、実践としてとりあげる対象年齢児やクラスは各自自由とする。

レポ ー ト 内 容

6月	<p>「保育所保育指針から学ぶ」</p> <p>保育所保育指針(第1章～第7章)のどれか1章を取り上げ、その内容を自らの保育実践と結びつけて、保育現場において求められる取り組みについて述べる。</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 指針(解説書)を深く読み込むことにより、自らの保育実践をふり返る。 指針にもとづく保育のあり方を考える。
7月	<p>「地域とこれからの保育所」</p> <p>地域の子育て支援の拠点としての機能が求められている今、保育所を利用する子どもだけでなく、地域のために保育所ができること、または取り組むべきことなど今後の保育所のあり方について述べる。</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域子育て支援センターや預かり保育において、子どもと保護者の思いに寄り添った支援の内容を考える。 客観的な視点をもって、地域社会のなかの保育所のあるべき姿を考える。
8月	<p>「わたしの保育所でのケース研究」</p> <p>配慮が必要な子どもや保護者への対応などに関する自らの保育実践の事例を示し、対応においてどのような研究に取り組んだか、その過程や今後の課題について述べる。</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に向け、保育所内での事例検討のすすめ方を見直す。 保育者としてのかかわりの効果を、子どもの姿とともに客観的に記録に残しながらふり返る。
9月	<p>「文献から学ぶ」</p> <p>古典あるいは新刊文献を読んで、啓発されたこと、学んだことなどについて述べる。(文献リストは後日、別途提示)</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 修了論文作成に向け、文献からの情報収集の方法やまとめ方、引用文献の記載の仕方を学ぶ。 文献のポイントとなる部分を、自己の保育実践や保育観と関連づける。
10月	<p>「他施設の保育にチャレンジ」</p> <p>これまで経験していない保育や地域活動等を行っている保育所、乳児院、児童養護施設、知的障害児施設などでの保育実践に関わり、そこで学んだことについて述べる。</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 他の保育所や他の児童福祉分野を学ぶことにより、自らの保育実践に生かすことができる。 自身の保育所や実践内容との相違から、これからの児童福祉(保育)を考える上で大切なことを探る。
11月	<p>「職員を育てる」</p> <p>主任保育士として、指導計画や保育日誌の指導、OJTや職場内研修の実施などの職員養成において、どのような目標をたてて取り組んでいるかなどの状況と、取り組みにおける課題等について述べる。</p> <p>ねらい・ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員養成における主任保育士(リーダー的職員)に求められる役割について考える。 具体的な職員養成の手法を用いて、そのすすめ方や効果を検討する。

修了論文

自ら設定した課題について、12,800～16,000字程度でまとめる。
 作成は、パソコン等で行い電子媒体にて提出。締め切りは平成25年2月末日厳守。

ゼミ指導講師

- 受講期間中は、ゼミ指導講師の指導のもと、課題レポートおよび修了論文の作成に取り組みます。
- 所属ゼミは、前期集中講義までに本会にて決定します。

(敬称略・50音順・平成23年12月末時点)

大豆生田 啓友	(玉川大学准教授)	千葉 武夫	(聖和短期大学教授)
小沼 肇	(小田原女子短期大学学長)	林 陽子	(中部学院大学教授)
里見 恵子	(大阪府立大学准教授)	増田 まゆみ	(東京家政大学教授)
清水 益治	(帝塚山大学教授)	八木 義雄	(武庫川女子大学教授)
鈴木 牧夫	(玉川大学教授)		

平成 24 年 月 日

全国保育士会 第 25 期主任保育士特別講座

受講申込書

全国保育士会会長 殿

受講申込者所属施設長

氏名 _____ 印

都道府県・指定都市保育協議会会長

氏名 _____ 印

都道府県・指定都市保育士会会長

氏名 _____ 印

下記の者は保育経験が概ね 10 年以上あり、主任保育士またはそれに準ずる者であることを証明するとともに、明確な達成課題を持ち意欲的に「第 25 期主任保育士特別講座」を全ての期間受講できると認め、受講を推薦し申込みいたします。

氏名	(ふりがな)		
自宅住所	〒 _____ Tel () Fax ()		
職名		経験	※平成 24 年 3 月 31 日現在 保育士歴 _____ 年 _____ か月 主任保育士歴 (保育士歴含めず) _____ 年 _____ か月
勤務先施設	名称		
	〒 _____ Tel () Fax ()		
	設置主体	1. 公立 2. 私立 3. その他 ()	
	経営主体	1. 市区町村 2. 社会福祉法人 3. その他 ()	

<最後に、以下のことを約束する場合のみ、署名・捺印してください>

私は、別添事前レポートのとおり、明確な受講動機を持って、本講座に臨むとともに、講座受講の全期間を通して、自らの課題に積極的にとりくむことをお約束します。

受講申込者署名 _____ 印

●事前レポートについて

- (1) 事前レポートは、受講決定の際に参考とします。
- (2) 事前レポートは、次の2点を含んだ内容の小論文を作成してください。字数は1,500~2,000字です。

- ① 主任保育士（または、それに準ずる者）としての課題と本講座の申し込みの動機
- ② 本講座受講期間中に達成したいことや取り組みたい課題

- (3) 事前レポートは、市販の原稿用紙に手書きするか、パソコン等で作成したものを印刷し、必ず受講申込書に添付してご提出ください。
- (4) レポートは、1行目にタイトル、2行目に都道府県・指定都市名、勤務先、氏名を記入してください。
- (5) パソコン等で作成する場合は、本文は40字×50行（2,000字）としてください。なお、1~2行目は字数に含みません。